

# できるごとから始めよう

## ごみを減らす生活

市民の皆さんから分別して出している「ごみ」は、少し工夫すると減量できます。

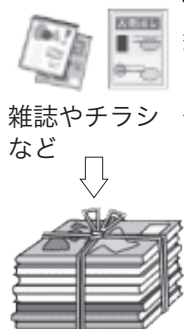
そこで、ごみの減量方法、間違いやすいごみの分別方法を紹介します。できることからやってみましょう。

### 意外と多い紙製品

本や雑誌、チラシなど意外と多い紙製品。特にパンフレットやメモ用紙などは見終わったら丸めてごみ箱に捨ててしまうことも多いのではないだろうか。

ごみ袋の中でかさばる紙製品はぜひ、雑紙に分類して出してください。メモ用紙などの小さなものは雑紙に挟んでしまえば、簡単に出せます。

また、せっかく分別しても「ペーパーひもや麻ひもでしぼると回収できませんので、必ず紙ひもでしぼって出しましょう。



紙ひもで十字にしぼって出してください。

### プラスチックだけ仲間じゃない

同じプラスチック素材でも、洗面器やタッパー、おもちゃなどは燃やすごみです。

プラごみは、左のマークがついているものが対象です。

もし、プラごみかごごつか迷う場合は、担当までお気軽にお問い合わせください。



このマークのものがプラごみに出せます。

### せっかくの食材がごみに

農作物や魚介類などの食べ物を買いすぎて、食べきれなかった食材をダメにしてしまつことはありませんか。

おいしくいただくためにも食材は必要なだけ買うようにしましょう。生ごみも減って、お財布にも優しくなります。

#### ● 問い合わせ

環境課生活環境室

☎ 53・2111 (内線273)

## 生誕300年 青砥武平治伝④

# 種川の碑 碑文で称える功績

藤基神社(市内三之町)には、市文化財に指定されている青砥武平治の記念碑(史跡)が建っています。今回は、この記念碑について紹介します。

記念碑は、「種川の碑」と呼ばれ、大きさは高さ1・6メートル、幅1・4メートルあり、当初、三面川河畔に建立されましたが、昭和33年(1958年)に現在地に移設されました。

記念碑には種川の造成や青砥武平治が取り組んだ鮭の増殖とその功績、当時の士族が鮭で成した財を教育に充てたこと、記念碑建立の経緯などが漢文で記されています。

記念碑の上部に記されている「村上種川碑」の篆額は、小松宮彰仁親王によるもので、碑文は漢学者で文学博士の島田重禮氏による撰文を元老院議官巖谷修氏が書にしたものです。



藤基神社境内にある記念碑(正面)

青砥武平治生誕300年祭

### 鮭のつかみどり 参加者募集

とき 11月10日(日) ①午前10時 ②午後1時  
ところ 鮭公園大池(イヨボヤ会館裏手)  
対象 どなたでも  
定員 いずれも30人(先着順)  
参加費 1人500円(当日徴収)



※小学校3年生以下のお子さんは保護者と一緒に参加できます。この場合の参加費は1人分となります

募集期間 10月7日(月)~10月31日(木)  
申し込み 青砥武平治生誕300年祭実行委員会事務局まで電話で申し込んでください。

#### ● 問い合わせ

青砥武平治生誕300年祭実行委員会事務局(農林水産課水産振興係内)

☎ 53・2111 (内線342)